

ゆがゆ議会だより



平成31年

第108号

1月25日発行

表紙：幼稚園お遊戯会（年長組）

- ◆ 村民と議会の意見交換会 …………… P 2～3
- ◆ 12月定例会提出議案審議 …………… P 4～5
- ◆ 小中学生が本会議を傍聴 …………… P 6
- ◆ 委員会視察研修 …………… P 7
- ◆ 一般質問（8議員が村政を問う） …… P 8～15
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 …………… P 16

主な内容

パパ、ママ、
元気いっぱい
歌えたよ♪

村民と議会の意見交換会

平成30年11月24日

議会では、信頼される議会を目指して、議会の活動報告と、村民の意見や提言等を直接聴取する機会として、毎年、意見交換会を開催しており、今年度は、「村の防災について」をテーマとし、消防団幹部と村民を交えて意見を取り交わしました。

意見交換会では、防災に関する喫緊の課題や将来の防災体制の在り方等について真剣に議論しました。

いただいた意見は、早速議会で取りまとめ、村長に要望書として提出しました。消防団幹部の方々には、お忙しいところ感謝いたします。



防災のあり方について消防団幹部と意見交換

意見1

社会的弱者、交通弱者に対する避難策を十分に考え、「①誰に連絡して、②どのように、③どこへ」など、具体的対応を決め、マニュアル(計画)化すること。
また、このようなことを想定した村内総合防災訓練を消防団、行政区長等と連携、協力の下、定期的実施すること。

意見2

防災行政無線について、高齢者のことを考えると個別受信機は全世帯に必要と考えるので、対応すること。

意見3

有事の際は、消防団員だけでは対応に限界があるので、看護師のような専門職の有資格者の協力を求めるような施策を考えるべきである。

意見4

道の駅周辺河川敷の消防広場について、水利の確保を図り、訓練広場として有効に活用できるよう整備しておくこと。

意見5

勝常地区の断水について、有事の際、大きな問題となってしまいうため、最低限の水利は確保するよう土地改良区と協議すること。

意見6

消防団員の確保については、村、消防団、行政区が連携して協力すること。

意見7

消火栓の使用について、会津若松市移管となってからは点検での使用が禁止されているが、使用できるよう水道部と再度協議すること。

村長へ要望書を提出

意見交換会で出た意見を要望書として村長へ提出

福島県町村議会議員研修会へ参加

去る10月23日に、平成30年度町村議会議員研修会が郡山市のユラックス熱海で開催され、議員9名が参加しました。

研修会では、前半、「地方議会のあり方・活性化について」と題して、東大大学院教授の金井利之氏による講演があり、小規模自治体が抱えている議員のなり手不足の問題や首長と議員の二元代表制論の意義について説明がありました。

後半は、『報道ステーション』や『ワイドスクランブル』など、人気番組にも出演している岩井奉信氏（日大教授）による講演で、現在の安倍一強体制や今後の政局予想についてユーモアを交えて話され、県内の議員は興味深く聞き入っていました。



研修には県内全町村の議員が参加

第525回12月定例会は、12月11日から14日までの4日間の会期で開催されました。
 村長から提出された条例改正や各会計の補正予算、議員提出議案など13件が審議され全て可決されました。
 また、12日、13日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し村政を問いました。



第525回 12月定例会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			佐野盛至	片桐英子	三澤榮三	篠竹正弘	齋藤賢一	小野澄雄	小林孝一	小野淳一	高倉好博	菅沼弘志
63	湯川村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
64	湯川村若者定住住宅成工事変更請負契約について	可決	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議長
65	平成30年度湯川村一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
66	平成30年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
67	平成30年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
68	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
69	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
70	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
71	平成30年度湯川村一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
72	平成30年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
73	平成30年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
74	平成30年度湯川村介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出議案第5号	議会改革特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

* 「○」は賛成、「×」は反対、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

議員提出議案「議会改革特別委員会の設置について」を全会一致で可決！

～ 議員定数・議員報酬・議会基本条例について検討 ～

今定例会では、議会改革について、さらなる調査・検討を行っていく必要があるとのことから、議員提出議案として「議会改革特別委員会の設置について」が提案され、全会一致で可決されました。今後は、議員定数・議員報酬・議会基本条例の見直しについて真剣な議論が始まります。

- 1 名 称 議会改革特別委員会
- 2 設置の根拠 地方自治法第109条及び湯川村議会委員会条例第5条
- 3 目的 議会改革に関する調査研究
- 4 委員の定数 議長を除く9名（委員長：三澤榮三議員、副委員長：片桐英子議員）

議案の主な内容

<議案第63号 湯川村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について>

- ・法律の改正に伴い、児童扶養手当を2019年11月から現在の年3回から年6回に分けて支給するものです。

<議案第64号 湯川村若者定住住宅造成工事変更請負契約について>

- ・下樽川地区西部の住宅造成用地に、公園工事を追加するための変更を行うものです。

<議案第65号 平成30年度湯川村一般会計補正予算（第3号）>

- ・街路灯の修繕費528千円の増額、中学校給食車進入路工事請負費1,266千円を増額するものです。

<議案第66号 平成30年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）>

- ・保険給付費の高額療養費について、高額な医療を必要とする被保険者の増加により、8,535千円を増額補正するものです。

<議案第67号 平成30年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）>

- ・下水処理施設の中継ポンプの故障により、修繕費972千円を増額補正するものです。

<議案第68号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正>

- ・議会議員に支給する期末手当について、年間支給割合を現行の3.25月分から3.30月分に0.05月分引き上げるものです。

<議案第69号 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正>

- ・村長及び副村長、教育長に支給する期末手当について、年間支給割合を現行の3.25月分から3.30月分に0.05月分引き上げるものです。

<議案第70号 職員の給与に関する条例の一部改正>

- ・職員の給料月額並びに諸手当の額改定について、若年層の給料月額の引き上げ、期末・勤勉手当年間支給割合を現行の4.35月分から4.40月分に0.05月分引き上げるものです。

湯川中学校へエアコン設置(7050万円)!

<議案第71号 平成30年度湯川村一般会計補正予算（第4号）>

- ・職員の給料月額改正に伴う増額補正と中学校のエアコン設置工事関連予算70,500千円を計上するものです。

※以下、議案第72号～74号の各会計補正予算は、給料等の改定に伴い増額するものです。

質疑あれこれ

質 公園工の追加工事について、請差が出たから追加するのは手順としておかしいのではないかと？
(本来は補正予算で対応すべきである)

答 本来は補正予算をとるのが正しい方法であり、詳細について説明すべきであった。

質 街路灯のLED化は進める必要がある。小学校はLED化が進んだが、中学校の計画はあるのか？

答 年次計画を立てて計画していきたい。

質 中学校で実施している異文化体験事業は大変いい事業であり継続すべきと考えるが？

答 場所や実施方法などは検討することとしているが、継続するよう検討していきたい。

質 昨年度は強風で防雪柵が倒壊したが、今年度の対策は？

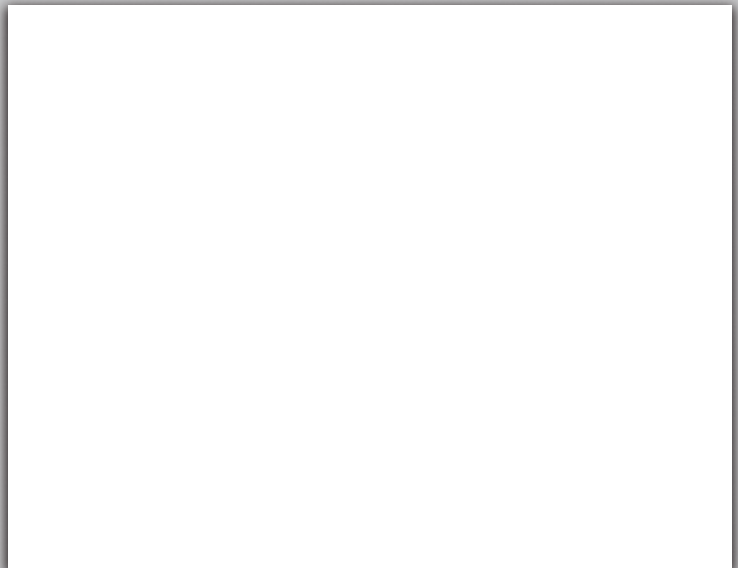
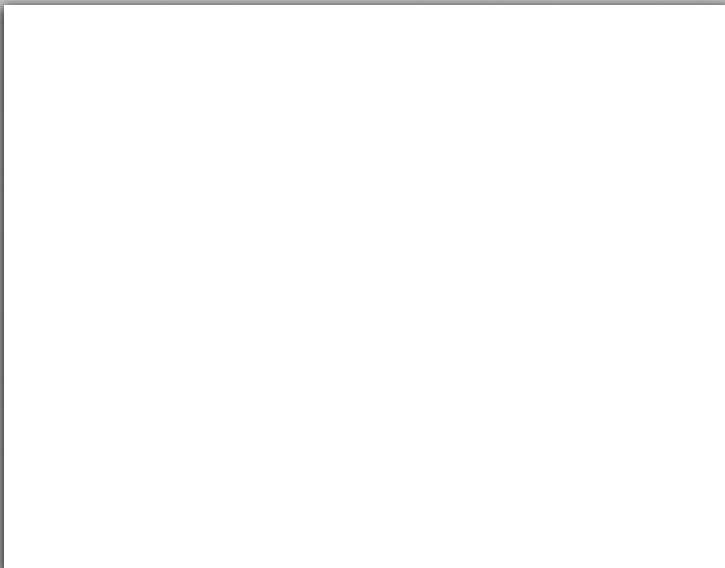
答 昨年度のようなことがないように、ロープを複数張ることで対応した。

笈川・勝常両小学校の6年生と湯川中学校の3年生が12月議会定例会を訪れ、一般質問を傍聴しました。

皆さんからいただいた感想文の一部を紹介いたします。



小中学生が本会議を傍聴



総務文教常任委員会視察研修報告

【茨城県美浦村10 / 25・26】

副委員長 佐野 盛至

茨城県美浦村に、防災対策と子育て支援対策について視察研修してきました。

【防災対策（防災行政無線）】

災害に強い屋外防災行政無線システムの構築事業を平成31年4月頃からの運用開始の予定で整備していました。現在整備されているIP告知システムを活用して、村内13か所に屋外スピーカーを設置して、外で仕事をする人や登下校の児童生徒への避難指示情報等を確実にできる最新の整備を行っていましたので、本村においては2020年までに防災行政無線を整備する予定ですので大変参考となりました。

【子育て支援対策】

子育て支援センターは未就学児のお子さんとその保護者が気軽に集い交流できる場所で、子育てに関する事業を通して子育て支援をし、部屋やコーナーがゆっ



美浦村では全議員にタブレットを配備

たりとしたスペースで整備されました。また、わかりやすいパンフレットが作成されており、子育て支援の在り方について大変参考となりました。

経済常任委員会視察研修報告

【富山県農林水産総合技術センター10 / 30・31】

委員長 篠竹 正弘

富山県農林水産総合技術センターを研修しました。

昨年は、全国的に高温による品質低下、減収となりましたが、富山県では高温による白未熟粒の多発、台風や大雨などでの倒伏による減収が懸念されることを受け、平成15年産から主力品種「コシヒカリ」から、猛暑でも高品質な米となる品種の開発にいち早く取り組み、遺伝子資源の検索・特定に着手し、10年後に、

- ①高温に強い
- ②草丈が短い
- ③倒伏に強い
- ④いもち病に強い特性を集積し「富富富（ふふふ）」を完成させました。

また、田植え時期を早め、稲体活力を維



水稲新品種「富富富」誕生までの経過説明を受ける委員

持し高温を避けるなど、成熟期までを安定させる方法にも取り組んでいます。本村も例外ではなく高温障害、農業水の渇水等、自然は想定外をもたらします。今後、農業の安定化に対する十分な備えをすべきと考えます。

議会運営委員会視察研修報告

【岩手県紫波町11 / 14・15】

委員長 斎藤 賢一

地方議会では「議会基本条例をつくって住民報告会を開催する」という流れが主流になっていますが、条例をつくるのがゴールであってはならないし、住民への報告会を行うことが目的化してもいけません。村議会も基本条例を制定し、毎年、「村民との意見交換会」を開催しています。

議会本来の役割である政策立案にどう住民意思を反映させるか、いかに議会活動を透明化させ住民の付託と信頼に込めるかを徹底していくことが大切になります。

私が議員になり、この8年間の村議会改革の議論は、住民への報告会の仕方や定例議会での当局との議論をどう活発化していくか、また、広報の充実など具体的な成果に繋がっていると思いますし、議会基本条例

の検証作業も毎年丁寧に進め、検討課題がより具体的になっていきます。

そこで委員では、岩手県紫波町議会にお伺いしました。

紫波町議会の武田議長の言葉で印象的

だったのは「首長と議会は車の両輪である」という考え方はもはやあり得ないそう。絶大な権力をもつ首長と対峙するためには、議会が気持ち一つに議案審議に臨む必要があります。議員間討議はその手法であり、議長の下に議会が一つにまとまり、合議体としての政策提案や立案、住民のためにならない予算は修正する、否決するということを常に実行できている議会であればアクセルとブレーキのような関係性であるとの事でした。

村議会は様々な課題に対応できる議会力、議員力を身につけなければならぬ。住民に堂々と説明責任を果たすため、議会は日々進化し続けなければならぬと感じました。



議会改革を研修する議員



佐野 盛至
議員

村政を問う 一般質問

12月定例会

地球温暖化対策について

問 村内公共施設等のLED照明化の進捗率は？

答 役場庁舎、役場車庫、道の駅はほぼ100%で、その他の施設は全体の約15%ほどである。なお、村内の街路灯は、故障したものから順次LED照明に切り替えている。

【教育長答弁】

設置割合は両小学校とも約36%になる。幼稚園と保育所の駐車場の外灯はLED化した。なお、LED照明化は、経費がかかるので優先順位をつけながら計画的に実施していきたい。

問 LED設置についての補助制度は考えていないか？

答 将来性を見ながら考えていきたいが、今現在は考えていない。

問 民間事業所や家庭においてLED照明

機器の設置はどの程度普及しているか。また、普及促進対策はどのように行っているか。

答 村内の民間事業所や家庭におけるLED照明機器普及率は把握していないが、今後、地球温暖化対策計画策定、推進に取り組んでいきたい。

問 湯川村住宅用太陽光発電システムの設置費補助金の交付実績は？

答 各年度の交付実績は平成27年度6件・55万1千円、平成28年度4件・48万円で、平成29年度は申請件数並びに交付実績はなかった。

問 村有地で太陽光発電所を設置する考えはあるか。

答 小中学校及び役場庁舎の屋根に非常時対応のために太陽光発電システムを設置しており、今後、村有施設の有効利用は考えていきたい。

阿賀川河川敷内の民有地について

問 阿賀川河川敷内に民有地があり、境界が決まっていないので、木の伐採や砂利撤去ができないと聞いているが？

答 河川事務所からは、河川敷内に民有地が存在すること、また、河川敷内民有地の樹木伐採や土砂撤去を行うことは可能だが、所有者の確認作業や了承を得る手続きに時間を要している。



倒木や砂利が堆積している河川 (宮古橋付近)

問 村民の生命財産が何より大事である。民有地の解決について国に足しげく通い調整していただきたい。

答 村民の安全安心のために、国の予算確保に向けて会津全体で要望している。

株式会社湯川会津坂下の裁判について

問 裁判の今後の予定は？

答 12月27日の「第6回弁論準備手続」において、今後の方向性が見えてくると担当弁護士から伺っている。

問 村は大株主という立場で、いい方向で解決できるように努力すべきと考えており、今後、村民への説明も必要と考えるが？

答 12月27日には方向性がきちんと見えてくるので、皆さんに説明できる。

村政を問う

一般質問

12月定例会



高倉 好博
議員

農業経営の安定対策について

問 平成30年度農業主要の施策として挙げられた事業で最も成果のあったものはなにか。

答 ひとつの事業に絞り込むことは難しいが、「大規模農業経営体育成支援事業」「地域水田農業特別奨励事業」「地力増進事業」「環境にやさしい農業推進事業助成金」などである。

問 農業法人の来年の展開は？

答 セーフティネットとして答えられる組織としては、利用権設定の計画面積は10町だがさらに増えると思われる。

問 細かい作業は？

答 苗づくり、草刈、すべてをやっている。勝常センターのハウスを借りることを考えている。

問 賃借料は？

答 20,000円/10aの設定で、水料費や賦課金は地主持ちである。

問 担い手の育成は？

答 法人へ地域おこし協力隊の支援体制を整えていきたい。

問 今年の不作に対する農家支援の考えはあるか？

答 村として鋭意検討中である。

冬期間練習できる屋内施設の整備について

問 本村では冬期間の練習施設は限られているが、簡易的でも屋内施設の整備は考えられないか。

答 屋内施設の優先順位は、①村・教育委員会関係行事 ②学校行事及び学校関係主催大会 ③体育協会・村文化協会加盟団体 ④村内一般団体、⑤村外利用団体である。

屋内施設の新社については、現在のところ財政面の確保が大変困難であり考えてない。

問 ハウスのような簡易施設は考えられないか？

答 検討させていたのだが、まずは既存施設の修繕等を優先させていきたい。

生涯学習に関する活動について

問 「学びの窓」に掲載してある講座・教室に関して現在までの活動状況は？

答 生涯学習講座と教室は、「幼児教育」「青少年教育」「成人教育」「婦人教育」「高齢者教育」の五つに整理される。

問 成人教育「会津三十三観音を学ぶ」は、好評と聞いているが？

答 日本遺産に指定されたことと担当者の

綿密な計画があり好評であった。



参加者が多数あった三十三観音巡り
(写真は会津三里町「21番 左下り」)

問 参加者が少ない事業や参加者ゼロの事業についてどのように評価しているか？

答 事業の間口を広げていきたい。

問 広げるのではなく、絞った方が効果あるのでは？

答 生涯学習の中で村民ニーズを把握しながら検討していきたい。

村政を問う

一般質問

12月定例会

篠竹 正弘
議員



高齢者にやさしい 村づくりについて

問 9月定例会で質疑した集落公民館玄関スロープ設置は介護予防教室等と集落事業の活性化には必要と考えるが？

答 地区集会所へのバリアフリー改修費助成については、地域の現状や課題のさらなる把握を行い、高齢者福祉施策の優先順位を見定め調査研究していく。

問 簡易的なもので安価なものであれば設置可能では？

答 前向きに検討していく。

問 降雪時の高齢者世帯、一人暮らし等への除雪支援体制で村のチームや集落チーム等を組織し支援できないか？

答 村では、冬期間の大雪に備え、村職員

による「平成30年度大雪時における高齢者世帯等支援体制」を整えた。3名から4名の6班体制で80歳以上のみの世帯等の安否確認と玄関から道路までの通行路を確保する除雪支援を行うものである。地区の除雪作業は、基本的には個人管理だが、喜多方市では除雪券の配布等も行っており、参考としながら高齢者世帯の安心安全な生活環境の確保を図っていきたい。

防災危機管理について

問 11月の小野町住宅火災では、住宅用火災報知器が未設置の可能性が報道されたが、村内世帯の設置状況は？

答 村内939世帯中、880世帯で約93%の設置率と把握している。

問 高齢者2人世帯、1人暮らし等の火災報知器の設置、作動確認は実施しているか？

答 消防団員が取り付け等のサポートをするよう依頼している。また、毎年2回、春と秋の火災予防運動期間に、設置調査と作動確認を行っているが、今後も指示していく。なお、村には、日常生活用具を給付する「湯川村要援護高齢者等日常生活用具給付等事業」があり対象者には無償で給付することができる。

問 消防団年間計画の放水訓練も阿賀川の水利がとれず、実施されていないのでは？

答 渇水の影響により、実施できない状況が近年続いているが、来年からは使用できるようにする。

問 消火栓について会津若松市からの制限により、訓練での使用ができないようだが対応できないか？

答 赤水（さび水）の問題があり、なかなか困難な状況である。

問 防災計画だけでなく、湯川村総合防災訓練の実施に向けた計画はないのか。

答 予算と人員面で毎年の実施は難しいが、再来年度の防災行政無線整備を機にアクションを起こしていきたい。



火災警報器を取り付ける
消防団員

村政を問う

一般質問

12月定例会



片桐 英子
議員

教育予算の拡大について

問 学校図書館司書設置や放課後児童クラブ等のおやつ改善は、教育委員会内の予算では確保が困難との回答だが、新年度の予算編成では、これらを加味した予算枠にできないか？

答 予算編成では各課への枠配分を行い事業の優先順位は各課へ委任しており質問内容のように特枠での措置はしない考えである。「学校図書館司書の配置」の必要性と効果は十分に認識しており、教育委員会内で改めて検討するよう求めており、委員会のなかで事業の優先性を考慮すべきと考える。

18歳以下の国保税均等割の免除について

問 暮らしを圧迫する均等割の免除を早急に検討すべきと思うが？

答 18歳以下の子ども一人に係る（※①）

均等割は年間29,200円で、所得により7割・5割・2割の軽減措置がある。軽減世帯の過半数以上を占めるひとり親世帯には、ひとり親医療費助成事業でも医療費を助成しており、子どもの医療費助成事業とあわせて経済的支援をしている。また、軽減世帯に該当しない世帯は、一定の所得があり、他の被保険者と均等割免除の必要はないと考えている。

国際家族農業年を迎える本村の取り組みは

問 2019、2020、2021年の10年間が国際家族農業年となり、世界で家族農業が見直されているが、本村では、どのように家族農業年に取り組みつつしているか？

答 「家族農業」とは、農場の運営から管理までの大部分を1戸の家族で営んでいる農業のことを言うが、村では、家族農業経営体と法人経営体等が共存し、安心して経営のできる支援策を検討していく。

問 荒れた畑をどうすべきと考えるか？

答 荒れ地が畑から田んぼに移ってきており、知恵を結集して対応していくしかない。

問 会社を退職された方や認知症の方でもできる作業はあるはず。農福連携ということもあり、それをつなぐ役割が行政にはある。本村に後継者は不足しているのか？ネットワークづくり、掘り起こすことが行政の役割ではないか？

答 障がいがあっても参加できる作業はあると思うが、利益を生む組織でなければならず、堂畑マルシェのような地域の力が必要である。

問 利益追求だけではなくその仕掛けづくりは行政が担うべきと思うか？

答 若者が生業を起し意欲を持つには所得確保が大切に体制整備は支援していきたい。

認知症家族への支援状況について

問 グループホームあじさいでは認知症力フエは開催されているが、家族同士で情報交換できる場があれば心的負担軽減につながると思うが？

答 地域包括支援センターを窓口として、今後、ご家族の方々が集まる場を設けられるよう取り組んでいく。

※①18歳以下の均等割（30年度医療給付分19,800円後期高齢者支援金分9,400円）



グループホームあじさいでの認知症カフェ

村政を問う

一般質問

12月定例会

齋藤 賢一 議員



電子決裁による事務効率化について

問 他県では電子決裁による事務効率化が進んでいるが、本村の状況・考えは？

答 電子決裁制度は実施してない。会津管内で事務の電子決裁システムを運用しているのは、会津若松市と喜多方市があり、紙媒体での決裁も並行して実施している。一気の電子決裁化は厳しいが、今後状況を勘案しながら検討していく。

【教育長答弁】

伝票などの画一化された事務処理や職員の休暇簿、超過勤務命令簿、旅行命令簿、各種施設の利用申請書の許可などの単純な決裁事務などは、電子決裁移行も可能と思う。

問 事務の効率化、業務改善について話す機会を新年度予算で確保すべきではないか？

答 事務効率化を検討する機会を数多くつくっていききたい。

奨学金の償還支援政策について

問 本村から関東近辺の大学等に進学する子どもが増加し、ふるさとに戻る子どもが増えない。近隣市町村では、奨学金の償還を支援し、若者の呼び込みを行っているが考えは？

答 奨学金償還の支援は若者定住政策において有効な政策と認識しており、今後は、村において奨学金償還に対する支援の必要性和効果、財源確保などについて教育委員会と連携して調査研究していく。

問 若者が帰還しないのは就職先や給与の問題もあり、帰りやすい村独自の環境を考えるべきではないのか？

答 十分に考えていきたい。

若者定住支援政策について

問 本村の若者定住政策の実績と今後の計画は？

答 移住促進のための情報発信プロジェクト「4×4（よんよん）プロジェクト」を展開し、WEBページやLINE、パンフレットを通じて、積極的な情報発信を行っている。今後は、村内への若者定住が進むよう、総合的な受入環境の整備に取り組んでいく。

問 若者や移住者が住宅を新築・改築する際に一定の住宅建設費補助をしている自治体があるが、本村の見解は？

答 若者や移住者が住宅を新築・改築する際に一定の住宅建設費補助をしている自治体があるが、本村の見解は？

問 次年度の予算編成にあたっては、若者の定住に向けた住宅建設に対する補助金等の支援策の導入も検討していく。

問 下樽川の若者定住住宅の入居・退去案件は？

答 入居は40歳未満の既婚世帯、退去は子どもが18才になったら等、現在、詳細を整備している。

問 住宅を退去した後で考えるべきと考えるが？

答 美田園地区の拡張を考えているが、空き家対策と並行して慎重に進めていきたい。



造成工事が進められる若者定住住宅

問 今でも私は分譲計画が良いと思っているが、進める以上は今後の計画が重要である。若者定住のための施策を完結させないとこの事業は意味がない。手遅れになってしまう。

答 村の人口減少に対する対策、十分考慮しながら住む場所をにらみながら皆さんにお示しいきたい。

村政を問う

一般質問

12月定例会



小野 澄雄 議員

職場の健康管理について

問 健康障害の要因と認識、さらに障害防止対策について問う。

近年、村内でも心身に不調をきたす人が年々増加している。原因として、雇用形態の変化、人間関係の希薄化、コミュニケーション不足や長時間労働等と言われます。職場内での健康障害と認識についてどのようなお考えか？

答 また、実施が義務化されたストレスチェック導入を受けての健康障害対策の現状と対策は？

答 健康障害防止対策として、健康診断や健康指導の充実に努めており、他町村と比較した内容であると思っている。ストレスチェックの結果を集計・分析し、今後も身体的、心理的に働きやすい職場環境になるよう対策を講じていく。

問 組織機構の見直しを含めた、職場内環境改善の考えはあるか？

ストレスチェックや時間外勤務から、仕事量・仕事の偏りや協力体制等から問題点が感じられる。管理者としての「気配り・目配り・心配り」が大切ではないか。また、働き方改革の施行に伴い、会計年度任用職員制度改革等、大幅に仕組みが変わる。そのためにも、業務内容を含めた機構の見直しなど、職場内環境改善をすべきと思うが。

答 行政サービスの多種多様化が進み、職員一人ひとりの業務量が増えている。適切な人員配置や業務量の見直しをしながら、横の連携の強化、気配り、情報の共有に繋げたい。また、組織の改善や見直しも各課長と連携し状況を把握し改善していきたい。人事評価での面接を通して悩み等を把握し、環境改善に取り組んでいく。

農業の所得向上について

問 今年度の結果を踏まえ、来年度の対策は？

異常気象による水不足が及ぼした影響は、平年並みには程遠い収穫であった。来年度に向けて、水不足対策はどうなっているのか。また、所得対策にとつて大切なことは販売価格を上げることである。ブランド化に向けて、検討委員会設置が予算化されているが、どこまで進んでいるのか？

答 今年度は、高温等な収入減少につながったと考えている。将来に向けて、一過性ではなく、安定した経営基盤が構築できるように来年度予算編成に向けて検討したい。

水源地からの揚水計画については、今月20日の試験揚水を踏まえ、土地改良区と協議を進めたい。また、ブランド化に向けての検討は行っていない。ふるさと納税や葛飾区のイベント等で知名度を上げブランド化を図っている。

問 知名度とブランド化とは別問題である。ブランド化を農家所得向上に如何に結び付けるかが重要である。ふるさと納税に

よって、湯川村のネームバリューは大きくなった。消費者と産地を結びつけることがブランド化を上げ、農家の「やる気・元気・活気」につながると思う。如何。

答 販売先、販売量を十分把握し、支援しながら湯川ブランドを発信していきたい。

意見

村が先頭に立つて創意、工夫、実行力を駆使することで、職員の意欲を高め、能力を活かすことができる。それが村の発展につながる。



葛飾区産業フェアで会津湯川米をPR

村政を問う

一般質問

12月定例会

三澤 栄三 議員



農業法人の健全経営について

問 今年7月にJAと共同出資で設立された農業が開始されたが、今年度の営業稼働状況は？また、農家とのトラブル、その他の事故防止策等のマニュアルを作成したか？

答 受託内容については、件数が合計で7件、受託面積が合計で816アール、請求金額がコンバイン刈取作業で1,468,620円、もみ運搬作業で139,707円、合計で1,608,327円の請求額となっている。マニュアル等に関しては、会津湯川ファームや関係団体及び地域担い手農家等との情報共有・協議等を行う場を定期的に設けながら、作成に十分関与し、会津湯川ファームと地域の担い手農家、その他の農業法人等が連携しながら本村の農業の発展に寄与できるように推進して参りたい。

職員、臨時職員の給料表は？

問 来年度に向かって作成中である。職員採用に間に合うように整備していきたい。

答 農繁期以外の仕事はあるのか？

答 とりあえず稲作だけが、機械整備も自分たちで実施し、1年間を通じて仕事をし、給料分ぐらいは稼ぐようにしていきたい。

公的施設の電気料金削減の取り組みについて

問 3月定例会で庁舎等の節電対策について質問したが、「新電力による経費削減は調査・研究させていたいただき考える」との答弁があった。その後、調査結果はどのようになつたか？

現在、本村の公共施設に電気を供給している東北電力から新電力の小売り電気事業者に切り替えた場合、村内の公共施設の電気料金がおよそ1割から2割ほど削減できることがわかった。村の公共施設全体における電気料金は年間約2,750万円程度かかっており、新電力に切り替えた場合、数百万円の電気料金軽減が見込めるところである。

答 現在の東北電力から新電力の小売り電気事業者に切り替えた場合、村内の公共施設の電気料金がおよそ1割から2割ほど削減できることがわかった。村の公共施設全体における電気料金は年間約2,750万円程度かかっており、新電力に切り替えた場合、数百万円の電気料金軽減が見込めるところである。

道の駅の今後の営繕費の取り組みについて

問 道の駅は、会津坂下町、湯川村で約17億円、共同出資で建設された商業施設である。そこに指定管理費毎年2,000万円を支払い営業しているが、5年が経過し老朽化が進み、近いうちに修繕で高額な経費がかかると思う。今から対策を考える必要があると思うが？

答 年間の入込客数は約110万人、売り

上げは約5億9千万円あるが、施設への負荷が増大し、大規模な木造施設であることから、外壁等の塗装工事を含め、今後、大きな修繕費が発生するものと考えており、計画的な修繕対策を進めて参りたい。

問 外壁塗装に3,000万円かかるとのことだが、毎年、積立をし、基金をつくってはどうか？

答 余剰金を積立できるとは願っているが、ただきたい。地域振興のため、今後も生産体制を支援していく。



完成後5年目を迎えた道の駅あいづ

村政を問う

一般質問

12月定例会



小林 孝一 議員

平成30年農業の現状と次年度農業施策における重点施策について

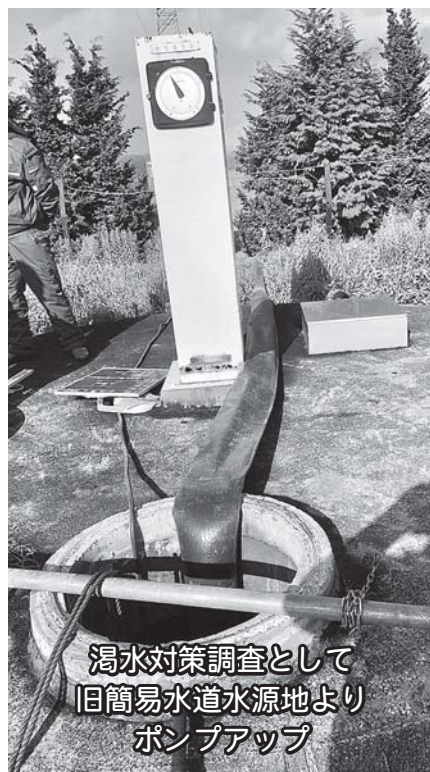
問 今年度10アール当たりの収量を村はどのようにとらえているか？

答 少雨・高温・渇水等に起因する生育不良・収量減等で、村全体において約2割近い減収率となり、農家の方々にとっては大変大きな影響及び損失であるものと認識している。

問 減収の原因をどのようにとらえているか？

答 本年は今までになような異常気象の年であり、空梅雨による少雨、長期の高温、渇水等による要因が主なものと考えている。

問 天候不順、温暖化が常態化していることが要因ともいえるが、土



渇水対策調査として旧簡易水道水源地よりポンプアップ

壌改良材の施用でCO2の発生を防ぎ、ある程度の収量を確保することもできる。この補助事業は継続していただきたいが？

答 土壌の大切さは理解している。

問 天のつぶはカメムシによる被害が多く2等米がほとんどだった。ドローンによる防除対策を農業法人で実施できないか？

答 法人でぜひ役割を果たしていきたい。

問 農業法人の利用権設定の賃借料20,000円について、地主が水利権を払うということだが、地主の手元にくらも残らない。耕作者、地主ともWIN・WINの関係とすべきであり、この設定が今後基準となってしまう。

答 担い手の意見や中間管理機構の状況などを考慮して設定した。ご理解願いたい。

問 来年度、ふるさと納税関連の農家支援予算はどのように変更されるのか？

答 「農家支援助成金」「環境にやさしい農業推進事業助成金」「湯川産米提供事業（お米券助成事業）」は、次年度予算編成に向けて十分検証し、慎重に検討していく。

問 減収要因である水不足対策は対処療法にとどまっている、本格的対策を示されたい。

答 今後次年度予算編成に向けて検討していく。

問 水不足は勝常地区北部が深刻である。河川（旧湯川）の水をなぜ使わないのか？下流の水利権の取水口を変更すればできること。土地改良区に相談するのではなく、この問題を解決できるのは村である。

答 これまで通りの絶対的な水量を確保できるように村として頑張っていく。

湯川村議会の主な動き

- 10月17日 内堀雅雄個人演説会
- 18日 例月出納検査
- 19日 国道121号改良促進期成同盟会総会及び中央要望・広報広聴委員会
- 20日 喜多方高校百周年記念式典
- 23日 町村議会議員研修
- 24日 議会改革検討委員会
- 25日～26日 総務文教常任委員会視察研修（茨城県美浦村議会）
- 27日 大相撲千賀ノ浦部屋「会津湯川米」贈呈式 **写真**
- 28日 秋季連合検閲
- 30日～31日 塩川ライオンズクラブ40周年記念式典
- 11月1日 経済常任委員会視察研修（富山県農林水産総合技術センター）
- 2日 戸ノ口堰土地改良区五穀豊穰祭
- 4日 議会全員協議会
- 7日～9日 平成30年度教育委員会表彰式並びに第4回湯川村こころるさと小学生作文コンクール「少年の主張発表会」及び作文コンクール表彰式・湯川村産業文化祭・湯川村自治功労表彰式
- 11日 定期監査
- 13日 秋の防火パレード
- 14日 議会全員協議会
- 15日 第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会選手壮行会 **写真**
- 16日 議会運営委員会視察研修（岩手県紫波町）
- 17日 会津総合開発協議会臨時総会
- 18日 全国過疎地域自立促進総会
- 19日 第31回両沼地方議会議員大会決議事項福島県要望
- 20日 第35回両沼地方交通安全町村民大会
- 21日 第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会応援 **写真**
- 22日 例月出納検査
- 23日 第31回両沼地方議会議員大会決議事項中央要望
- 24日 第62回町村議会議長全国大会
- 25日 平成30年度湯川村戦没者慰霊祭
- 26日 浜崎壮健クラブ感謝祭
- 27日 小林昭一県議第6回秋の収穫・感謝祭
- 28日 議会意見交換会
- 29日 会総協若松地方部会主催講演会
- 12月1日 福島大学研究・地域連携成果報告会
- 2日 湯川村婦人消防クラブ総会
- 3日 議会全員協議会・議会運営委員会
- 8日 会津塩川ライオンズクラブクリスマス家族会
- 11日～14日 菅家一郎環境副大臣政務官就任祝賀会
- 15日 市町村野球・市町村ソフトボール報告会
- 16日 第525回湯川村議会定例会
- 17日 増子輝彦を囲む「国政報告会・望年会」
- 18日 全国過疎地域自立促進総会（東京都）
- 25日 広域圏臨時会
- 1月4日 新春のつどい **写真**
- 6日 消防出初式 **写真**
- 10日 知事懇談会・交通安全祈願祭



千賀ノ浦部屋「会津湯川米」贈呈式



駅伝大会選手壮行会



2区の柏木純翔選手（三島）



迎春平成31年湯川村新春のつどい

新春のつどい



消防出初式の様子

編集後記

新年おめでとうござい
ます。平成最期のお正月
いかがお過ごしでしょ
うか。

昨年は何かと災害の多
い年でした。記録的豪雨
緊急避難行動、命を守る
行動とか、日頃あまり聞
かない言葉がテレビから
流れる状況は、映像でし
か見れないと思ってい
たことが、現実には日本
どこにでも起こり得る事
実と考えると、正月気分
も吹き飛んでしまいます。
村民の生命、財産をよ
り一層強固に守るとい
う考えで、防災行政無線シ
ステム構築が予定され、
議会としても「より一層
湯川村を守るという気概
を持って行動しなければ」
と決意を新たにしました。

（小林 孝一）

議会広報広聴委員会

- | | | | |
|-----|---|---|-----|
| 片三篠 | 小 | 高 | 委員 |
| 桐澤竹 | 委 | 林 | 副委員 |
| 英榮正 | 員 | 孝 | 長 |
| 子三弘 | 一 | 博 | |